

令和5年度 学カスタンダード指導計画 報告書

教科：（英語）科目：（コミュニケーション英語Ⅱ）対象：（第3学年 1組 ～ 6組）

科目担当者：（1～6組：関根 理絵、松尾 幸一）

教科 科目の 指導目標	学カスタンダードに基づき、読む、書く、聞く、話すの4技能の確実な習得を図るとともに、英語を用いてのコミュニケーション能力の育成、自らの考えを論理的に順序正しく発信できる力など、思考力 判断力 表現力等をふまえたコミュニケーション能力育成に重点を置いた指導を行う。
----------------	---

	高校入試等の分析結果 前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	コミュニケーション英語Ⅱでは、R5年度3学年では、1クラスあたりの実施となる。どのクラスも落ち着いて授業に取り組むことができている。1年次から実施しているペアワークも物怖じせず実施できている。 単語テストも引き続きValue1400 3000語レベルStep4から毎週実施する。単語テスト、単語ワーク課題は1年次から継続しているので、実施については定着ができている。語彙力の定着に期待したい。 教科書は引き続き、COMETⅡを使用する。勉強の仕方に慣れてきているので、苦手意識は少しずつ薄れてきており、意欲的に取り組むことできている。	1 リスニング力を鍛える。 2 資料から必要な情報を得る力をつけさせる。 3 語彙力を向上させる。 4 読解力をつけるため、身についた文法事項を用いた文章の読解をする。 5 コミュニケーション能力をつけるため積極的に発言させる。 6 プリントやワーク等で英語を書く練習をさせる。	1 次年度のコミュニケーション英語Ⅱでは同じ教科書を継続して使用していくので、生徒はやり方に慣れている。1クラス単位で行うが、授業規律も保たれると予想されるので、このままを維持していきたい。2年次と同様、単語テスト、単語ワーク、ワークブックは継続となる。苦手意識が薄れてきた段階で、英語に意欲的に取り組ませ、英語が少しでも「嫌な科目」ではなく、楽しんで取り組むことができる科目にし、少しでも英語力向上に努める。 2 文章以外の材料から情報を得る力がつくよう、ワークシートや発問を工夫し、生徒の興味・関心を引き出す授業を効率的にすすめる。 3 1週間に1度、副教材の単語帳から単語テストを出題し、定期考査の中でも同じテスト範囲で実施する。また、同範囲の単語ドリルブックの提出を促す。テストに対する意識向上が導けるよう促す。 4 文法事項の効果的なタイミングと量、やり方を工夫し、効率的に学べるように導く。 5 発問を工夫したり、発表の機会を工夫し、発言しやすい雰囲気づくり、学ぶ雰囲気づくりを大切にす。 6 提出物をこまめに提出させ、個に応じた指導を図る。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			